

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

和山 孝行

1 単元名 大多喜町活性化プロジェクト ―持続可能な大多喜町の実現に向けて―

2 対象 大多喜町立大多喜小学校 第5学年
同町内合同授業校 第5学年

3 単元の目標

自分たちが住む地域の町づくりやそれに携わる人々について調べる活動を通して、地域の特徴や町づくりに携わる人々の思いに気付き、地域よさや課題、自分たちとの関わりについて考えるとともに、持続可能な社会を実現するための情報技術の活用方法を考え、自ら社会に参画できるようにする。

4 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>① 地域の特徴を活かした町づくりのための様々な取組と、それに携わる人々の思いがあることを理解している。</p> <p>② 地域よさや課題、人々の思いをつかむために、目的に応じて情報を収集したりインタビューをしたりしている。</p> <p>③ 自分たちの関わりが地域の活性化や、持続可能な町づくりにつながることを理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>① 地域の町づくりについて、特徴を生かした取組や、携わる人々の思いから、地域よさや課題を明らかにしている。</p> <p>② 地域の現状を捉えるために必要な情報について、手段を選択し多様な方法で収集している。</p> <p>③ 課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>④ 持続可能な町づくりに向けた取組について、相手や目的に応じてグラフや図、写真等を使って効果的に分かりやすく表現している。</p>	<p>① 課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>② 地域よさや課題について調べる活動を通して、他者の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。</p> <p>③ 持続可能な町にするためのプログラミングモデルを創造したり提案したりする活動を通して、積極的に社会に参画しようとしている。</p>

5 「情報活用の実践力」を基盤とした単元の開発

ICTを活用して、自ら情報を選択して収集する力（収集・判断）、収集した情報を整理する力（整理・比較）、整理した情報を基に考えた新たな情報を表現する力（処理・表現・創造）、表現した情報を発信する力（発信・伝達）を身に付けさせる。

6 ICTを活用した協働学習場面の設定

思考力、判断力、表現力を育成するためにタブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域の学校との合同学習を通して児童同士による意見交換、発表などお互いを高め合う場面を設定する。



※「学びのイノベーション事業」実践研究報告書（平成26年）より

7 本時の学習（遠隔合同授業）※60分授業

- ねらい
- ・ 大多喜町の「よさ」や「課題」について、考えたことを発信・伝達し共有する。
 - ・ 多様な意見を整理したり、比較したりする方法を身に付ける。
 - ・ 大多喜町役場職員から大多喜町についての話を聞き、「よさ」や「課題」を明確にする。

時・形	学習内容と主な活動	指導・支援(・)と評価(◇)	学習教材
8分 全体 C4	1. 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。 大多喜町のよさや課題について、みんなで明確にしよう。	・ 学習の見通しをもたせる。	ワークシート (OneNote) Microsoft PowerPoint
10分 グループ C2	2. 友達や他のグループの意見も参考にしながら、比較検討し、自分たちのWhiteboardに追記入力したり整理したりする。 整理・比較 ・ 友達の考えを取り入れる ・ 他のグループのまとめ方を参考にする	・ 各グループがまとめた意見を提示し、発想をふくらませる。 ・ 他のグループの分け方やみんなから出た意見を参考に、追記や整理をさせる。	Microsoft Whiteboard
5分 グループ C4	3. グループで考えた大多喜町のよさや課題を発表する。(3グループ) ・ 仲間分けの説明 ・ よさや課題	・ グループで考えた意見を画面共有しながら発表させる。	Microsoft Whiteboard

10分 個別 C4	4. 大多喜町の「よさ」、その「よさ」が今後継続できなくなってしまうかもしれない「課題」について伝え合い、考えを共有する。 発信・伝達 ・大多喜町の「よさ」 ・「よさ」が今後持続できなくなってしまうかもしれない「課題」	・自分の考えを Forms を介して Teams に投稿させる。投稿された意見が友達と同じだった時はリアクションをさせる。 ・テキストマイニングを活用し、視覚的に情報を捉えさせる。	Microsoft Teams Forms Power Automate
15分 全体 C4	5. 役場職員から大多喜町の現状、よさや課題について話を聞く。 ・大多喜町の現状、よさ、課題、施策、将来の姿 など ・質疑応答 ・大多喜町役場職員から持続可能な大多喜町の実現に向けたモデル開発の依頼を受ける。 【依頼の視点】 ・大多喜町のよさを継続していく、プログラミングを活用した情報技術のモデル開発	・メモは取らず、プレゼンテーションをしっかりと聞くように声掛けをする。 ・不明な点があれば質問させる。 ・児童に期待することや提案に期待していること、役場でも取り組んでいることを伝えてもらう。	Microsoft PowerPoint
5分 個別	6. 明確になったよさや課題についてまとめる。	・自分たちが考えていたよさや課題が明確になったか確認させる。	ワークシート (OneNote)
7分 個別	7. 学習の振り返りをする。 ・今日の学習のできるようになったこと 発信・伝達する活動について 整理・比較する活動について ・これから授業で行っていきたいこと ・思ったこと ・考えたこと など	・本時の学びを自覚させ、次時以降の学習につなげる。 ◇発信・伝達、整理・比較することを身に付けることができたか。	ワークシート (OneNote) Microsoft Forms

関連する情報活用能力

(「情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントの在り方と授業デザイン」P. 14～15)

A 知識及び技能

3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解

②情報モラル・情報セキュリティの理解

d 通信ネットワーク上のルールやマナー

C 学びに向かう力、人間性等

1 問題解決・探究における情報活用の態度

①多角的に情報を検討しようとする態度

a 情報を構造的に理解しようとする

b 物事を批判的に考察しようとする

2 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度

①責任をもって適切に情報を扱おうとする態度

b 通信ネットワーク上のルールやマナーを踏まえ、行動しようとする